

## 十和田の火山活動解説資料（平成28年12月）

仙台管区气象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1）

銀山に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図2、図3）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。



図1 十和田 中湖周辺の状況（12月3日）

・銀山（中湖の北西約6km）に設置している監視カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。平成28年12月1日より常時観測火山となったことから、今後、火山活動解説資料を毎月発表します。次回の火山活動解説資料（平成29年1月分）は平成29年2月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、青森県、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータ等を利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

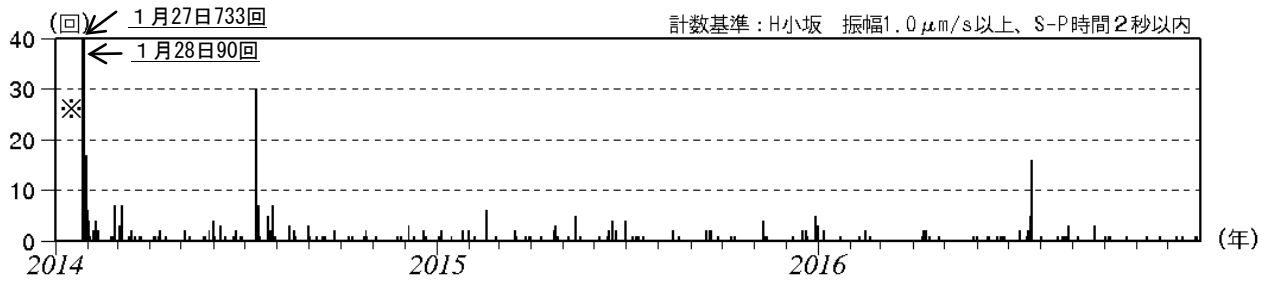
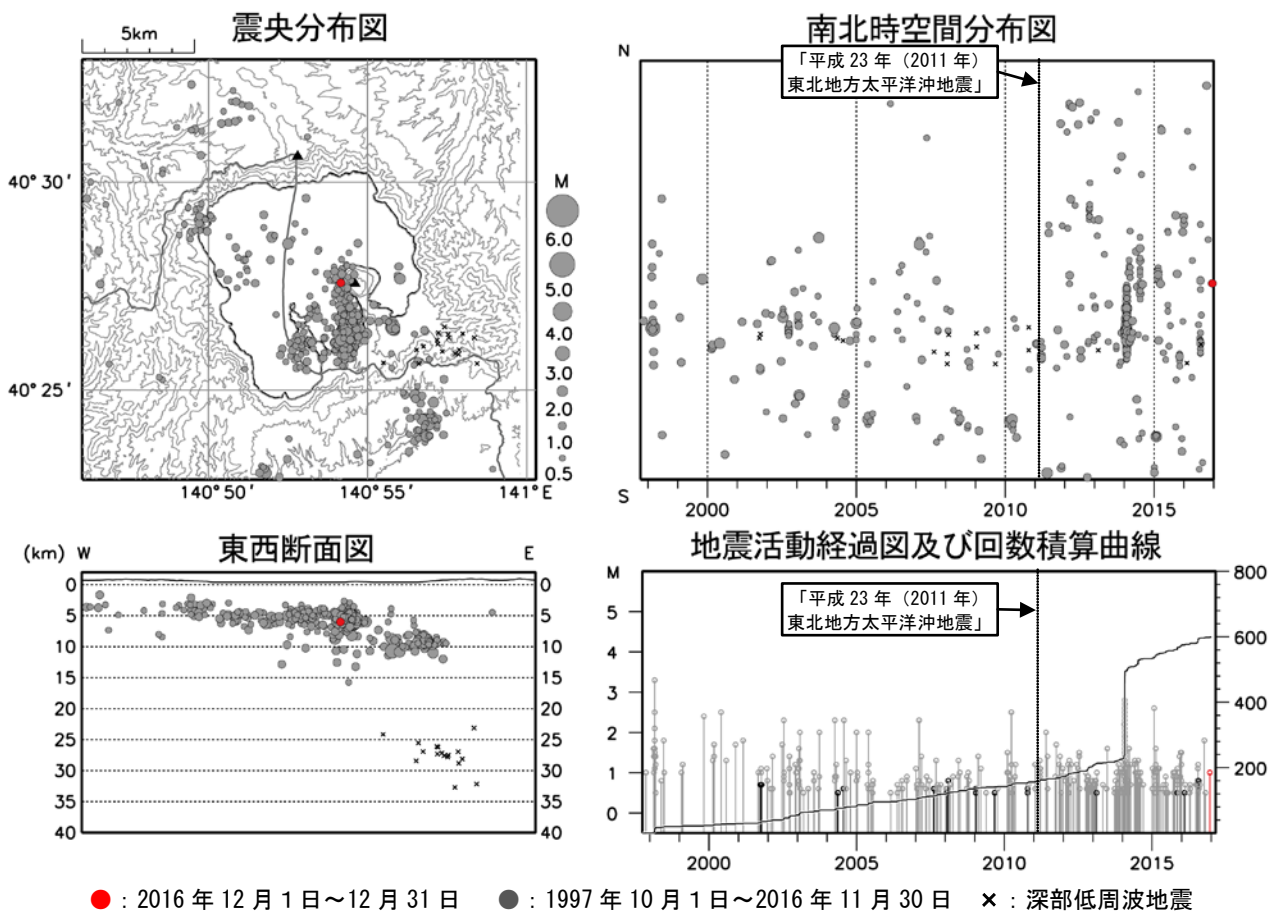


図2 十和田 日別地震回数 (2014年1月~2016年12月)  
 ※2014年1月27日より計数を開始しました。



● : 2016年12月1日~12月31日    ● : 1997年10月1日~2016年11月30日    × : 深部低周波地震

図3 十和田 広域地震観測網による十和田周辺の地震活動図  
 (1997年10月~2016年12月)

- ・ 2001年10月以降、検知能力が向上しています。
- ・ 低周波地震については、1999年9月から識別して登録を開始しました。
- ・ マグニチュードは地震の規模を示します。資料中の値は暫定値が含まれますので、後日変更することがあります。

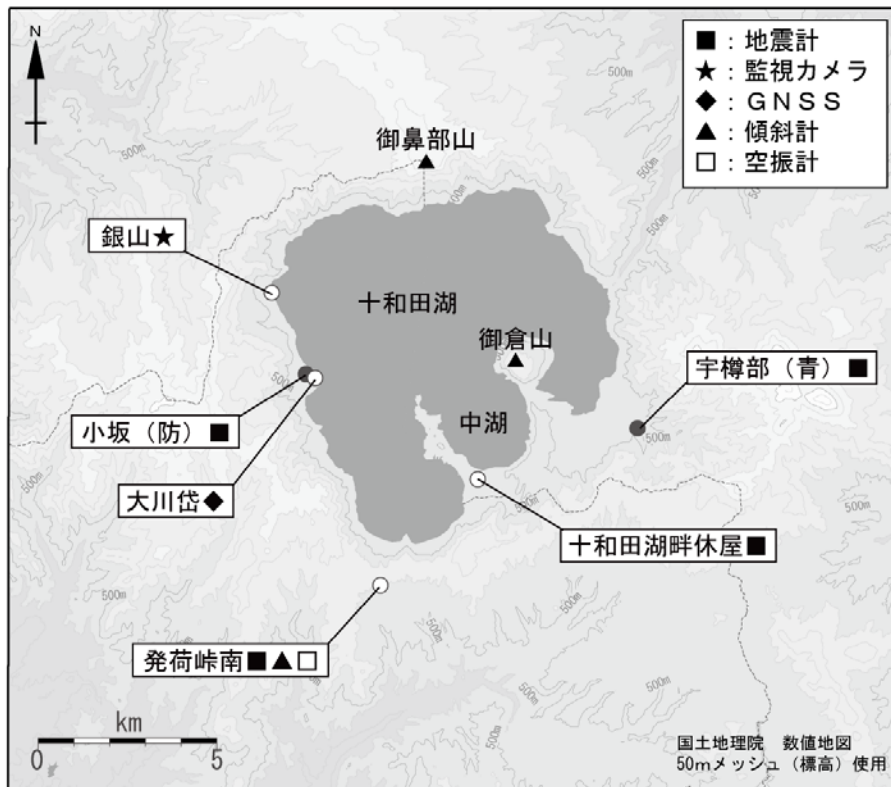


図 4 十和田 観測点配置図

- ・小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
- （国）：国土地理院 （青）：青森県 （防）：防災科学技術研究所
- ※発荷峠南、十和田湖畔休屋、銀山、大川岱：12月1日運用開始。